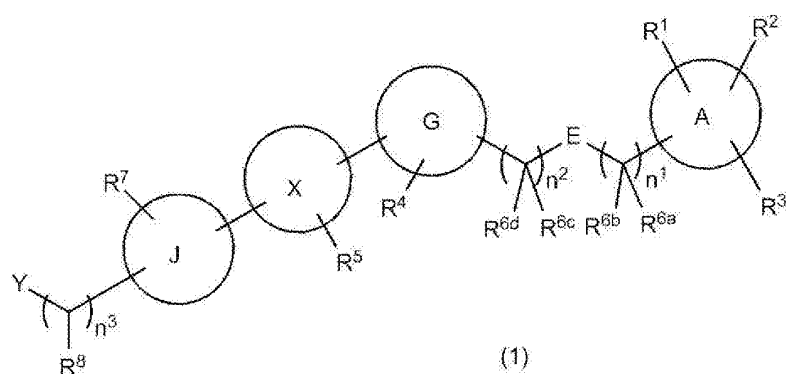


請求の範囲

[請求項1] 一般式(1)の化合物又はその薬理上許容される塩。

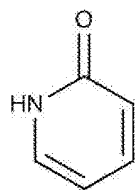
[化1]



式中の記号は以下に定義される。

A: 5-6員芳香族複素環、4-7員飽和複素環、ベンゼン、シクロヘキサン、又は、以下の構造を有する環（当該環は、少なくとも1以上の結合手を有する。）

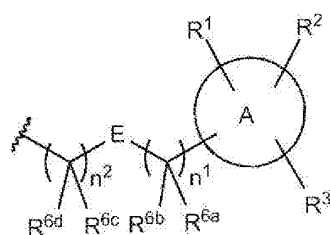
[化2]



E: $-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{O}-$ 、又は、単結合

G: 5員芳香族複素環（当該環は、少なくとも2以上の結合手を有する。
また、当該環が、窒素原子を有する場合には、少なくとも一つのその窒素原子が、右側部分と結合する原子の隣にある。なお、一般式(1)の化合物中、以下に示す部分を右側部分という。

[化3]

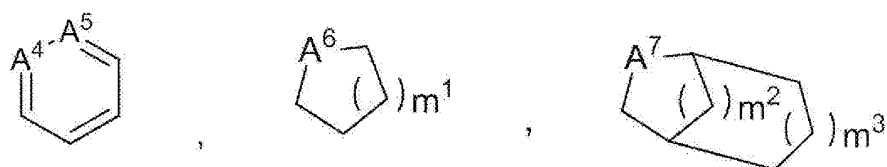


(各置換基を示す記号は、上記と同一の意義を有する。)

)

X: 以下に示すいずれかの環 (当該いずれかの環が他の原子が付加されて縮環して2環性の環となっている場合も含む。なお、当該いずれかの環は、少なくとも2以上の結合手を有する。)

[化4]



A⁴, A⁵: それぞれ独立して、-CH=、又は、-N=

A⁶, A⁷: それぞれ独立して、-CH₂-, -O-, 又は、-NH-

m¹, m², m³: それぞれ独立して、0、1、2、又は、3

J: 5員芳香族複素環 (なお、Jは、Xと縮環して2環性の構造であってもよい。)、又は、5員不飽和複素環 (当該環は、少なくとも2以上の結合手を有する。)

Y:

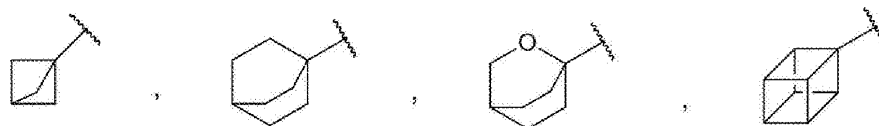
置換基群Y'から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

置換基群Y'から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいフェニル基、

置換基群Y'から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC3-C8シクロアルキル基 (以下の架橋構造を有する基の場合を含む

。)

[化5]



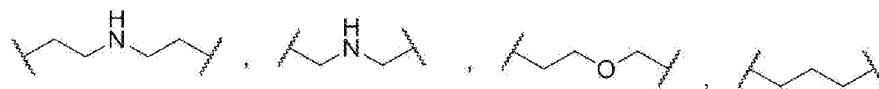
置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC3-C8シクロアルケニル基、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい4-7員飽和複素環基、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい4-7員不飽和複素環基、又は、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい、R⁷と結合して形成する以下に示される基：

[化6]



置換基群Y¹：

水酸基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

シアノ基、

ハロゲン原子、

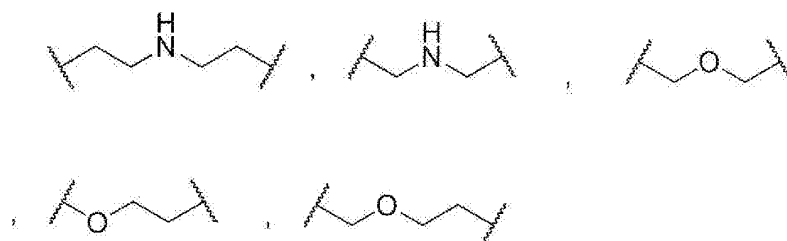
置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC1-C6アルキル基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC1-C6アルコキシ基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい4-7員飽和複素環基、

置換基群 Y^2 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい以下に示されるいずれかの基：

[化7]



置換基群 Y^2 ：

水酸基、

ハロゲン原子、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC1-C6アルキル基、

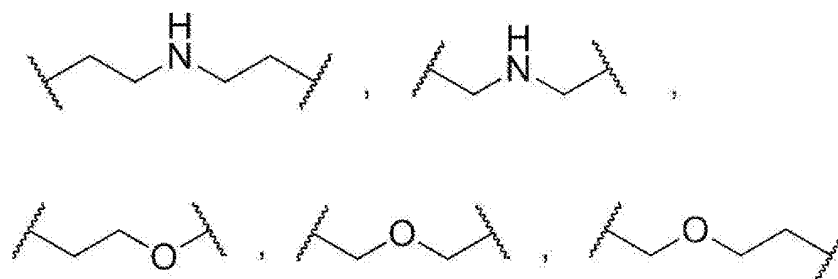
置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいC1-C6アルコキシ基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい4-7員飽和複素環基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい以下に示されるいずれかの基：

[化8]



置換基群 Y^3 ：

水酸基、

ハロゲン原子、

シアノ基、

置換基群 Y^4 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよ

いC1-C6アルキル基、

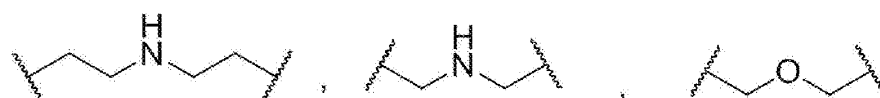
置換基群 Y^4 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよ

いC1-C6アルコキシ基、

置換基群 Y^4 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよ

い以下に示されるいずれかの基：

[化9]



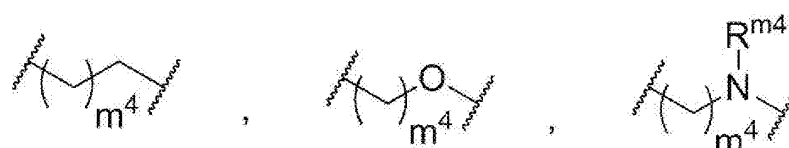
置換基群 Y^4 ：

フッ素原子

R^1 、 R^2 、 R^3 ：それぞれ独立して、水素原子、カルボキシ基、シアノ基、ハロゲン原子、C1-C6アルキル基、C1-C6アルコキシ基、C3-C8シクロアルキル基、C3-C8シクロアルコキシ基、ヒドロキシC1-C6アルキル基、ハロC1-C6アルキル基、ハロC1-C6アルコキシ基、C1-C6アルコキシカルボニル基、C1-C6アルキルC3-C8シクロアルキル基、C3-C8シクロアルキルC1-C6アルコキシ基、4-7員不飽和複素環基、C1-C6アルキル4-7員不飽和複素環基、ジ(C1-C6アルキル)アミノ4-7員不飽和複素環基、4-7員不飽和複素環カルボニル基、又は、C3-C8シクロアルキルカルボニル基

R^4 ：水素原子、C1-C6アルキル基、ハロC1-C6アルキル基、又は、 R^{6c} 又は R^{6d} と結合して形成する以下に示される基：

[化10]



(式中、 m^4 は、0、1、又は2、 R^{m4} は、水素原子又はメチル基)

R^5 ：水素原子、ハロゲン原子、又は、C1-C6アルキル基

R^{6a} 、 R^{6b} 、 R^{6c} 、 R^{6d} ：それぞれ独立して水素原子、又は、C1-C6アルキル基

R^7 ：単結合、水素原子、又は、メチル基

R^8 ：水素原子、又は、メチル基

n^1 、 n^2 、 n^3 ：それぞれ独立して、0、1、又は、2

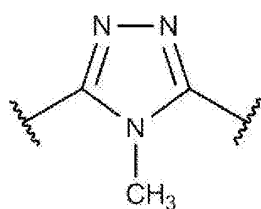
[請求項2] Aが6員芳香族複素環又はベンゼン（当該環は、少なくとも1以上の結合手を有する。）である請求項1に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項3] Aがピリジン又はベンゼン（当該環は、少なくとも1以上の結合手を有する。）である請求項1に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項4] R^{6a} 、 R^{6b} 、 R^{6c} が水素原子であり、 R^{6d} が水素原子又はメチル基であり、 n^1 が0であり、 n^2 が1であり、Eが-0-である請求項1-3のいずれか1項に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項5] Gが以下に示す環である請求項1-4のいずれか1項に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[化11]

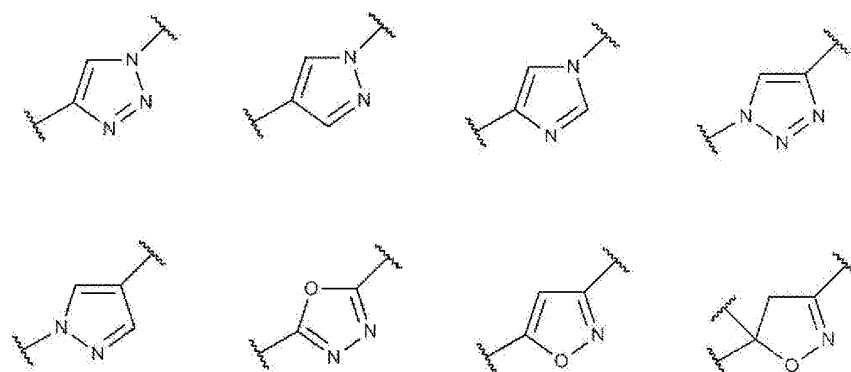


[請求項6] Xがベンゼン、ピリジン、又は、シクロヘキサン（当該環は、少なくとも2以上の結合手を有する。）であり、 R^5 が上記と同意義である請求項1-5のいずれか1項に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項7] Jが以下に示す環群から選択されるいずれかの環であり、 R^7 が水素

原子、又は、単結合である請求項1-6のいずれか1項に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[化12]



[請求項8]

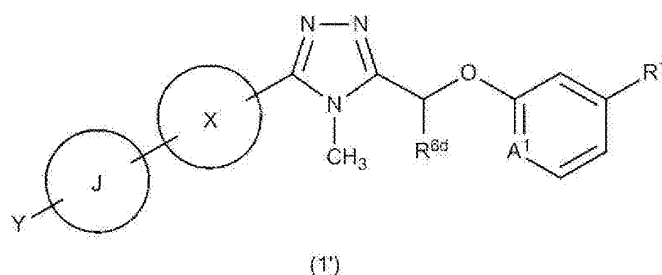
R^1 、 R^2 、 R^3 が、それぞれ独立して、水素原子、カルボキシ基、シアノ基、フッ素原子、塩素原子、メチル基、イソプロピル基、*t*-ブチル基、トリフルオロメチル基、トリフルオロメトキシ基、シクロプロピルメトキシ基、1,1-ジフルオロ-2-メチルプロピル基、1,1-ジフルオロ-2,2-ジメチルプロピル基、1-メチル-1-シクロブチル基、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、1-ヒドロキシ-1-メチルエチル基、アゼチジン-1-カルボニル基、3-メチルオキサタン-3-イル基、4,5-ジヒドロオキサゾール-2-イル基、又は、シクロプロピルカルボニル基である

請求項1-7のいずれか1項に記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項9]

一般式(1')の化合物又はその薬理上許容される塩。

[化13]



式中の記号は以下に定義される。

R^1 : 水素原子、カルボキシ基、シアノ基、フッ素原子、塩素原子、メチル基、イソプロピル基、*t*-ブチル基、トリフルオロメチル基、トリフルオロメトキシ基、シクロプロピルメトキシ基、1,1-ジフルオロ-2-メチルプロピル基、1,1-ジフルオロ-2,2-ジメチルプロピル基、1-メチル-1-シクロブチル基、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、イソプロポキシカルボニル基、1-ヒドロキシ-1-メチルエチル基、アゼチジン-1-カルボニル基、3-メチルオキサタン-3-イル基、4,5-ジヒドロオキサゾール-2-イル基、又は、シクロプロピルカルボニル基

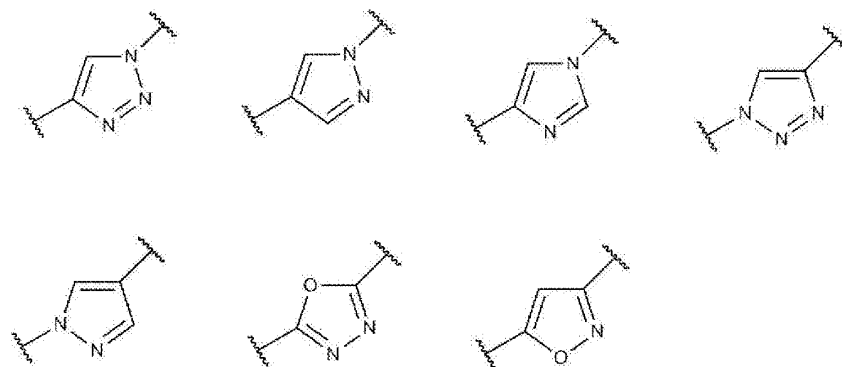
R^{6d} : 水素原子又はメチル基

A^1 : =N-、又は、=CH-

X : ベンゼン、ピリジン、又は、シクロヘキサン（当該環は、2個の結合手を有する。）

J : 以下に示す環群から選択されるいずれかの環

[化14]



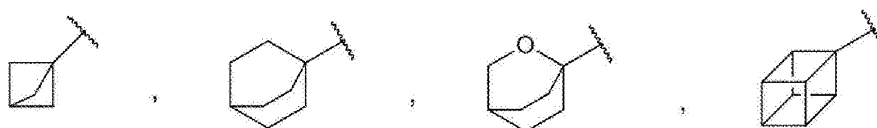
Y :

置換基群 Y^1 から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

置換基群 Y^1 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいフェニル基、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい以下から選択されるいずれかの基：

シクロブチル基、シクロペンチル基、シクロヘキシル基、
[化15]



置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいシクロヘキセニル基、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい以下から選択されるいずれかの基：

ピペリジニル基、アゼチジニル基、テトラヒドロピラニル基、モルホリニル基、又は、

置換基群Y¹から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいテトラヒドロピリジニル基

置換基群Y¹：

水酸基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

シアノ基、

フッ素原子、

置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいメチル基、エチル基、又は、イソプロピル基、

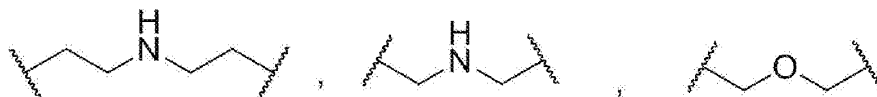
置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいメトキシ基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいアゼチジニル基、ピロリジニル基、又は、モルホリニル基、

置換基群Y²から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい

い以下に示されるいずれかの基：

[化16]



置換基群 Y^2 ：

水酸基、

フッ素原子、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいメチル基、

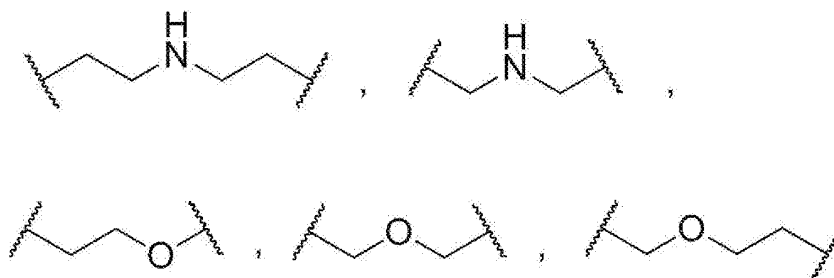
置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいメトキシ基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-2個の基で置換されていてもよいアミノ基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよいアゼチジニル基、ピロリジニル基、又は、モルホリニル基、

置換基群 Y^3 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい以下に示されるいずれかの基：

[化17]



置換基群 Y^3 ：

水酸基、

フッ素原子、

シアノ基、

置換基群 Y^4 から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよい

いメチル基、

置換基群Y⁴から、独立に選択される1-3個の基で置換されていてもよ

いメトキシ基、

置換基群Y⁴：

フッ素原子

[請求項10]

以下の群から選択されるいずれかの化合物又はその薬理上許容される塩。

4-フルオロ-1-メチル-4-{1-[トランス-4-(4-メチル-5-{(1R)-1-[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]エチル}-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル}ピペリジン

4-{4-[(1R)-1-(アゼチジン-1-イル)エチル]フェニル}-1-[トランス-4-(4-メチル-5-{[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]メチル}-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-トリアゾール

(3R,6S)-N,N-ジメチル-6-{1-[トランス-4-(4-メチル-5-{(1R)-1-[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]エチル}-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル}テトラヒドロ-2H-ピラン-3-アミン

4-フルオロ-1-メチル-4-{1-[(3R,6S)-6-(4-メチル-5-{[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]メチル}-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)テトラヒドロ-2H-ピラン-3-イル]-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル}ピペリジン

3-{トランス-4-[4-(4-フルオロ-1-メチルピペリジン-4-イル)-1H-1,2,3-トリアゾール-1-イル]シクロヘキシル}-8-[3-(トリフルオロメチル)フェノキシ]-5,6,7,8-テトラヒドロ[1,2,4]トリアゾロ[4,3-a]ピリジン

1,5-アンヒドロ-6-アゼチジン-1-イル-2,3,4,6-テトラデオキシ-2-{4-[トランス-4-(4-メチル-5-{[3-(トリフルオロメチル)フェノキシ]メチル}-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-

トリアゾール-1-イル}-D-エリトロ-ヘキシトール

2-({5-[トランス-4-(1-{トランス-4-[3-(フルオロメチル)アゼチジン-1-イル]シクロヘキシル}-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル)シクロヘキシル]-4-メチル-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル}メトキシ)-4-(トリフルオロメチル)ピリジン

3-(トランス-4-{1-[トランス-4-(アゼチジン-1-イル)シクロヘキシル]-1H-ピラゾール-4-イル}シクロヘキシル)-4-メチル-5-{3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}メチル}-4H-1,2,4-トリアゾール

4-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル}オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]モルホリン

6-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル}オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-2-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタン

6-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル}オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-1-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタン

2-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル}オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-6-オキサ-2-アザスピロ[3.4]オクタン

{1-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル}オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]アゼチジン-3,3-ジイル}ジメタ

ノール

メチル 3-{[4-メチル-5-(トランス-4-{1-[トランス-4-(2-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタ-6-イル)シクロヘキシル]-1H-ピラゾール-4-イル}シクロヘキシル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]メトキシ}ベンゾエート

8-メチル-3-[トランス-4-(4-メチル-5-((1R)-1-[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]エチル))-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1-オキサ-2,8-ジアザスピロ[4.5]デカ-2-エン

[請求項11] 4-フルオロ-1-メチル-4-{1-[トランス-4-(4-メチル-5-((1R)-1-[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]エチル))-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル}ピペリジン

[請求項12] (3R,6S)-N,N-ジメチル-6-{1-[トランス-4-(4-メチル-5-((1R)-1-[3-(プロパン-2-イル)フェノキシ]エチル))-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)シクロヘキシル]-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル}テトラヒドロ-2H-ピラン-3-アミン

[請求項13] 2-({5-[トランス-4-(1-{トランス-4-[3-(フルオロメチル)アゼチジン-1-イル]シクロヘキシル}-1H-1,2,3-トリアゾール-4-イル)シクロヘキシル]-4-メチル-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル}メトキシ)-4-(トリフルオロメチル)ピリジン

[請求項14] 6-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル]オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル)-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-2-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタン

[請求項15] 6-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル]オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル)-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-1-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタン

[請求項16] 2-[トランス-4-(4-{トランス-4-[4-メチル-5-({4-(トリフルオロ

メチル)ピリジン-2-イル]オキシ}メチル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]シクロヘキシル}-1H-ピラゾール-1-イル)シクロヘキシル]-6-オキサ-2-アザスピロ[3.4]オクタン

[請求項17] メチル 3-{[4-メチル-5-(トランス-4-{1-[トランス-4-(2-オキサ-6-アザスピロ[3.3]ヘプタ-6-イル)シクロヘキシル]-1H-ピラゾール-4-イル}シクロヘキシル)-4H-1,2,4-トリアゾール-3-イル]メトキシ}ベンゾエート

[請求項18] IL10を増加させるための請求項1-17のいずれかに記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項19] 請求項1-18のいずれかに記載の化合物又はその薬理上許容される塩を有効成分として含有する医薬組成物。

[請求項20] 炎症性疾患の予防及び/又は治療用である、請求項19に記載の医薬組成物。

[請求項21] 炎症性疾患が、末梢性炎症性疾患である、請求項20に記載の医薬組成物。

[請求項22] 炎症性疾患が、中枢性炎症性疾患である、請求項20に記載の医薬組成物。

[請求項23] 末梢性炎症性疾患が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、気管支喘息、喘息性気管支炎、びまん性間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、セリアック病、痔瘻、放射線性腸炎、急性肝炎、慢性肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、肝硬変、末梢神経炎、強直性脊椎炎、湿疹（急性・亜急性・慢性）、接触皮膚炎、日光（紫外線）皮膚炎、放射線皮膚炎、アトピー皮膚炎、脂漏性皮膚炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、扁平苔癬、紅斑症、酒さ、蕁麻疹、円形脱毛症、天疱瘡群、紅皮症、尋常性ざ瘡、褥瘡、創傷、熱傷、結膜炎、角膜炎、強膜炎、急性・慢性中耳炎、通年性アレルギー性鼻炎、花粉症、

副鼻腔炎、喉頭炎、食道炎、難治性口内炎及、舌炎、急性・慢性唾液腺炎、口角炎、口唇炎、ベーチェット病、多発性硬化症、I型糖尿病、II型糖尿病、アテローム性動脈硬化症、脾炎、及び、慢性心不全からなる群より選択されるいずれかである、請求項21に記載の医薬組成物。

[請求項24] 末梢性炎症性疾患が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、気管支喘息、潰瘍性大腸炎、クローン病、セリアック病、痔瘻、放射線性腸炎、急性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、強直性脊椎炎、接触皮膚炎、日光（紫外線）皮膚炎、アトピー皮膚炎、脂漏性皮膚炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、扁平苔癬、紅斑症、酒さ、円形脱毛症、天疱瘡群、紅皮症、尋常性ざ瘡、褥瘡、創傷、熱傷、副鼻腔炎、喉頭炎、食道炎、難治性口内炎、舌炎、急性・慢性唾液腺炎、口角炎、及び、口唇炎及びベーチェット病からなる群より選択されるいずれかである、請求項21に記載の医薬組成物。

[請求項25] 末梢性炎症性疾患が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、潰瘍性大腸炎、クローン病、セリアック病、痔瘻、放射線性腸炎、自己免疫性肝炎、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、強直性脊椎炎、創傷、難治性口内炎、舌炎、及び、ベーチェット病からなる群より選択されるいずれかである、請求項21に記載の医薬組成物。

[請求項26] 中枢性炎症性疾患が、アルツハイマー病、パーキンソン病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症、ピック病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、前頭側頭葉変性症、ハンチントン病、筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症、脊髄性筋萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、クロイツフェルト・ヤコブ病、致死性家族性不眠症、ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群、ダウン症候群、ニーマン・ピック病、脳ア

ミロイド血管症、HIV脳症、インフルエンザ脳症、肝性脳症、進行性多巣性白質脳症、抗NMDA受容体抗体脳炎、脳血管障害、外傷性脳損傷、脊髄損傷、低酸素脳症、てんかん、視神経炎、先天性代謝性脳疾患、ウェルニッケ脳症、自閉スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、チック障害、統合失調症、双極性障害、大うつ病性障害（治療抵抗性うつ、産後うつ）、持続性抑うつ障害（気分変調症）、月経前不快気分障害、不安障害、限局性恐怖症、パニック障害、強迫性障害、心的外傷およびストレス因関連障害、摂食障害、概日リズム睡眠・覚醒障害、ナルコレプシー、物質関連障害（アルコール依存、薬物依存）、衝動制御障害、せん妄、パーソナリティ障害、レット症候群からなる群より選択されるいずれかである、請求項22に記載の医薬組成物。

[請求項27]

中枢性炎症性疾患が、アルツハイマー病、パーキンソン病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症、ピック病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、前頭側頭葉変性症、ハンチントン病、筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症、脊髄性筋萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、クロイツフェルト・ヤコブ病、統合失調症、双極性障害、大うつ病性障害（治療抵抗性うつ、産後うつ）、持続性抑うつ障害（気分変調症）、月経前不快気分障害、不安障害、限局性恐怖症、パニック障害、強迫性障害、心的外傷およびストレス因関連障害、摂食障害、概日リズム睡眠・覚醒障害、ナルコレプシー、物質関連障害（アルコール依存、薬物依存）、衝動制御障害、せん妄、パーソナリティ障害、レット症候群からなる群より選択されるいずれかである、請求項22に記載の医薬組成物。

[請求項28]

中枢性炎症性疾患が、統合失調症、双極性障害、大うつ病性障害（治療抵抗性うつ、産後うつ）、持続性抑うつ障害（気分変調症）、月経前不快気分障害、不安

障害、限局性恐怖症、パニック障害、強迫性障害

からなる群より選択されるいずれかである、請求項22に記載の医薬組成物。

[請求項29] 炎症性疾患の治療における使用のための請求項1-17のいずれかに記載の化合物又はその薬理上許容される塩。

[請求項30] 請求項19に記載の医薬組成物の有効量を投与する、炎症性疾患の予防及び/又は治療方法。

[請求項31] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約3.9, 4.1, 8.34, 12.6, 16.2, 18.4, 19.5及び22.3にピークを有する請求項11に記載の化合物の結晶。

[請求項32] 図1に示すX線回折パターンを有する請求項11に記載の化合物の結晶。

[請求項33] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約3.8, 16.4, 18.0, 18.6, 19.8, 21.2及び22.7にピークを有する請求項12に記載の化合物の結晶。

[請求項34] 図2に示すX線回折パターンを有する請求項12に記載の化合物の結晶。

[請求項35] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約13.5, 15.7, 17.2, 17.8, 18.2, 19.2, 20.4, 20.8, 22.0及び27.2にピークを有する請求項13に記載の化合物の結晶。

[請求項36] 図3に示すX線回折パターンを有する請求項13に記載の化合物の結晶。

[請求項37] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約3.3, 13.4, 15.5, 16.8, 17.5, 17.9, 18.9, 20.4, 21.8及び26.9にピークを有する請求項14に記載化合物の結晶。

[請求項38] 図4に示すX線回折パターンを有する請求項14に記載の化合物の結晶。

[請求項39] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約13.2, 15.8, 16.5, 17.8

, 18.1, 20.3, 20.8, 21.4及び27.9にピークを有する請求項15に記載の化合物の結晶。

[請求項40] 図5に示すX線回折パターンを有する請求項15に記載の化合物の結晶。
。

[請求項41] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約14.2, 16.8, 17.4, 18.2, 18.6, 19.5, 20.0, 20.9, 21.6及び21.8にピークを有する請求項16に記載の化合物の結晶。

[請求項42] 図6に示すX線回折パターンを有する請求項16に記載の化合物の結晶。
。

[請求項43] 粉末X線回折で回折角($2\theta(^{\circ})$)として、約15.4, 17.6, 17.9, 18.4, 18.7, 19.2, 20.2, 20.7, 23.0及び23.8にピークを有する請求項17に記載の化合物の結晶。

[請求項44] 図7に示すX線回折パターンを有する請求項17に記載の化合物の結晶。
。